

野菜の需給・価格動向レポート(平成30年5月14日版)

1 主要野菜の生産出荷状況

※・レポートの読み方については、注意書きを参照してください

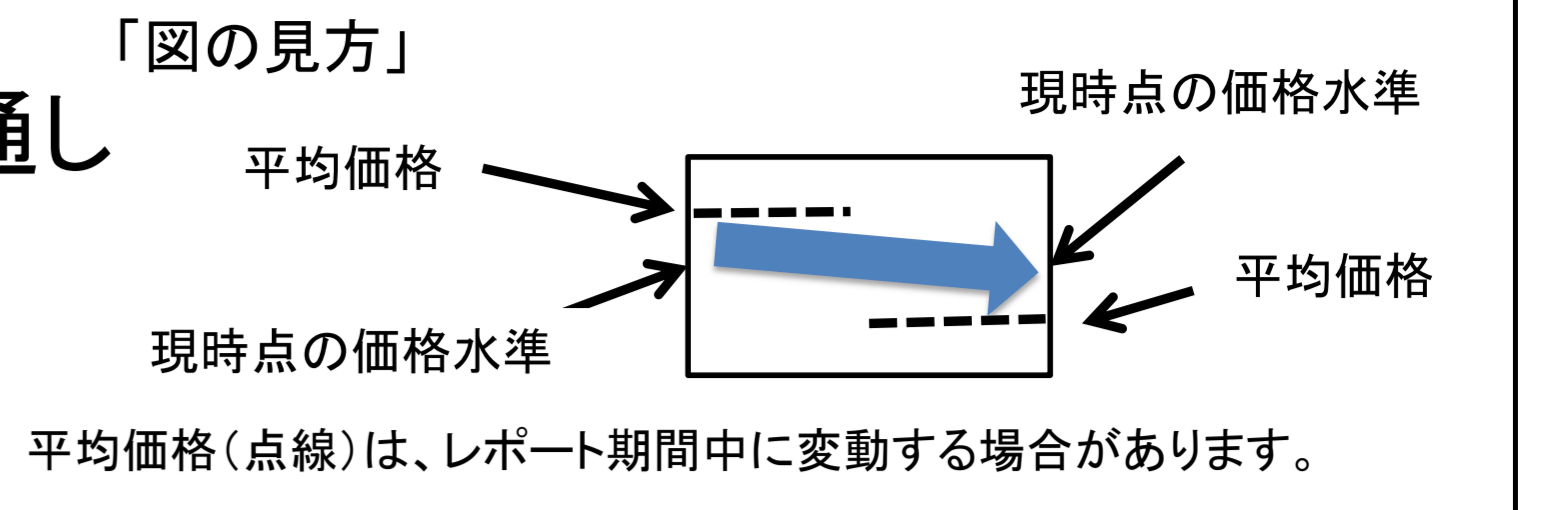
| 種類   | 3月の価格情報               |                        | 4月の価格情報               |                        |                        | 4月下旬の関東及び近畿ブロックの入荷量<br>( )内は、本年と過去3カ年平均値との比率 | 5月の主産地        | 「図の見方」<br>生育及び価格の5月下旬までの見通し |                  |                |   |  |
|------|-----------------------|------------------------|-----------------------|------------------------|------------------------|--|---------------|-----------------------------|------------------|----------------|---|--|
|      | (参考)保証基準額の算定の基となる平均価格 | 指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価格 | (参考)保証基準額の算定の基となる平均価格 | 指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価格 | 指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価格 |  |               |                             |                  |                |   |  |
|      |                       | 下旬                     |                       | 月上旬                    | 中旬                     |  |               |                             | 下旬               |                |   |  |
| 葉茎菜類 | キャベツ                  | 96.86                  | 104<br>(107%)         | 88.59                  | 88<br>(99%)            | 88<br>(99%)                                  | 71<br>(80%)   | ・11,226t<br>(112%)          | 千葉(34)、神奈川(32)   | →              | 千葉産は、天候に恵まれて順調な生育であることから、引き続き平年を上回る出荷の見込み。神奈川県産は、概ね順調な生育であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。<br>神奈川県産の出荷は平年並みであると見込まれるものの、千葉産の出荷が平年を上回ると見込まれることから、現在平均を下回っている価格は、引き続き平均を下回って推移する見込み。  |  |
|      |                       | 92.10                  | 94<br>(102%)          | 91.02                  | 80<br>(88%)            | 91<br>(100%)                                 | 75<br>(82%)   | ・2,518t<br>(102%)           | 愛知(45)、兵庫(18)    |                |   |  |
|      | たまねぎ                  | 83.77                  | 107<br>(127%)         | 95.80                  | 97<br>(101%)           | 90<br>(94%)                                  | 89<br>(93%)   | ・8,485t<br>(99%)            | 佐賀(57)、北海道(17)   | →              | 佐賀産及び北海道産の出荷が平年並みと見込まれることから、現在平均並みの価格は、引き続き平均並みで推移する見込み。  |  |
|      |                       | 83.77                  | 99<br>(119%)          | 95.80                  | 97<br>(101%)           | 95<br>(99%)                                  | 96<br>(100%)  | ・2,735t<br>(98%)            | 兵庫(48)、佐賀(28)    |                |   |  |
|      | ねぎ<br>(関東は白ねぎ、近畿は青ねぎ) | 127.15                 | 284<br>(223%)         | 291.18                 | 220<br>(76%)           | 271<br>(93%)                                 | 323<br>(111%) | ・966t<br>(77%)              | 茨城(40)、千葉(30)    | →              | 茨城産は、概ね順調な生育であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。千葉産は、春ねぎの切り上がり早いことから、現在は平年を下回る出荷となっているものの、次作型の夏ねぎの生育が前進していることや作付面積が微増したことにより、平年を上回る出荷の見込み。<br>茨城産の出荷が平年並みと見込まれ、千葉産の出荷は平年を上回ると見込まれることから、現在平均を上回っている価格は、平均並みで推移する見込み。   |  |
|      |                       | 473.04                 | 279<br>(59%)          | 334.20                 | 251<br>(75%)           | 264<br>(79%)                                 | 289<br>(86%)  | ・164t<br>(91%)              | 徳島(25)、三重(23)    |                |   |  |
|      | はくさい                  | 64.18                  | 101<br>(158%)         | 67.05                  | 38<br>(57%)            | 47<br>(70%)                                  | 49<br>(73%)   | ・1,894t<br>(102%)           | 茨城(94)、長野(3)     | →              | 茨城産は、気温の上昇により生育が前進したことから、現在は平年を上回る出荷となっているものの、3月中旬以降の気温上昇や4月以降の降雨により生理障害が発生して正品率が下がることから、今後は平年を下回る出荷の見込み。また、後継産地である長野産は、気温の上昇により生育が前進しており、平年を上回る出荷の見込み。<br>茨城産の出荷が平年を下回ると見込まれる中で、長野産が平年を上回る出荷の見込みであることや、流通在庫が多いことから、現在平均を下回っている価格は平均に近づくものの、引き続き平均を下回って推移する見込み。 |  |
|      |                       | 68.70                  | 96<br>(139%)          | 74.06                  | 40<br>(54%)            | 55<br>(74%)                                  | 62<br>(84%)   | ・448t<br>(113%)             | 長崎(36)、宮崎(15)    |                |   |  |
|      | ほうれんそう                | 372.27                 | 425<br>(114%)         | 376.10                 | 426<br>(113%)          | 561<br>(149%)                                | 481<br>(128%) | ・513t<br>(88%)              | 群馬(36)、茨城(32)    | →              | 群馬産は、前進出荷の反動により現在は平年を下回る出荷となっているが、生育は順調で出荷も回復することから、今後は平年を上回る出荷の見込み。茨城産は、順調な生育であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。<br>茨城産の出荷が平年並みと見込まれるものの、群馬産の出荷が平年を上回ると見込まれることから、現在平均並みの価格は、平均を下回って推移する見込み。   |  |
|      |                       | 394.15                 | 354<br>(90%)          | 416.73                 | 416<br>(100%)          | 517<br>(124%)                                | 512<br>(123%) | ・226t<br>(91%)              | 岐阜(62)、福岡(11)    |                |   |  |
|      | レタス(結球)               | 189.66                 | 133<br>(70%)          | 156.23                 | 129<br>(83%)           | 138<br>(88%)                                 | 121<br>(77%)  | ・3,292t<br>(86%)            | 長野(38)、茨城(29)    | →              | 長野産は、天候に恵まれて順調な生育であることから、引き続き平年を上回る出荷の見込み。茨城産は、出荷終盤を迎える中、生育が前進して1週間程度切り上がり早まることから、現在の出荷は平年並みとなっているが、今後は平年を下回る出荷の見込み。<br>茨城産の出荷が平年を下回ると見込まれる中で、長野産の出荷が平年を上回ると見込まれることから、現在平均を下回っている価格は平均に近づくものの、引き続き平均を下回って推移する見込み。   |  |
|      |                       | 193.43                 | 121<br>(62%)          | 165.00                 | 122<br>(74%)           | 138<br>(84%)                                 | 133<br>(81%)  | ・1,052t<br>(90%)            | 長野(49)、茨城(23)    |                |   |  |
| 果菜類  | きゅうり                  | 266.63                 | 276<br>(104%)         | 266.63                 | 214<br>(80%)           | 196<br>(74%)                                 | 201<br>(75%)  | ・4,684t<br>(87%)            | 埼玉(29)、群馬(25)    | →              | 埼玉産は、順調な生育であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。群馬産は、天候に恵まれて順調な生育であることから、引き続き平年を上回る出荷の見込み。<br>埼玉産の出荷が平年並みと見込まれるものの、群馬産の出荷が平年を上回ると見込まれることから、5月から平均価格が下がる中、現在平均並みの価格は、引き続き平均並みで推移する見込み。   |  |
|      |                       | 254.91                 | 265<br>(104%)         | 254.91                 | 201<br>(79%)           | 183<br>(72%)                                 | 186<br>(73%)  | ・1,440t<br>(94%)            | 宮崎(43)、高知(14)    |                |   |  |
|      | トマト(大玉)               | 356.77                 | 307<br>(86%)          | 356.77                 | 293<br>(82%)           | 286<br>(80%)                                 | 289<br>(81%)  | ・3,808t<br>(74%)            | 栃木(25)、熊本(23)    | →              | 栃木産及び熊本産の出荷が平年並みと見込まれることから、5月から平均価格が下がる中、現在平均を上回っている価格は、引き続き平均を上回って推移する見込み。   |  |
|      |                       | 337.87                 | 302<br>(89%)          | 337.87                 | 296<br>(88%)           | 286<br>(85%)                                 | 286<br>(85%)  | ・1,443t<br>(76%)            | 熊本(65)、愛知(8)     |                |   |  |
|      | なす                    | 347.77                 | 407<br>(117%)         | 347.77                 | 357<br>(103%)          | 341<br>(98%)                                 | 350<br>(101%) | ・1,351t<br>(91%)            | 高知(61)、群馬(18)    | →              | 高知産は、曇雨天で生育が遅れたことから、現在は平年を下回る出荷となっているが、天候の回復とともに平年並みの出荷となる見込み。群馬産は、順調な生育であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。<br>高知産及び群馬産の出荷が平年並みと見込まれることから、5月から平均価格が下がる中、現在平均を上回っている価格は、引き続き平均を上回って推移する見込み。   |  |
|      |                       | 330.95                 | 375<br>(113%)         | 330.95                 | 325<br>(98%)           | 319<br>(96%)                                 | 332<br>(100%) | ・615t<br>(93%)              | 高知(36)、熊本(21)    |                |   |  |
|      | ピーマン                  | 578.80                 | 491<br>(85%)          | 339.20                 | 405<br>(119%)          | 370<br>(109%)                                | 364<br>(107%) | ・1,185t<br>(102%)           | 茨城(70)           | →              | 茨城産は、順調な生育であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。<br>茨城産の出荷が平年並みと見込まれることから、現在平均並みの価格は、引き続き平均並みで推移する見込み。  |  |
|      |                       | 565.30                 | 438<br>(78%)          | 311.41                 | 335<br>(108%)          | 302<br>(97%)                                 | 298<br>(96%)  | ・534t<br>(129%)             | 宮崎(48)、高知(18)    |                |   |  |
|      | 根菜類                   | だいこん                   | 79.03                 | 76<br>(96%)            | 86.59                  | 68<br>(79%)                                  | 80<br>(92%)   | 85<br>(98%)                 | 4,227t<br>(91%)  | 千葉(76)         | →   | 千葉産は、天候に恵まれて順調な生育であることから、現在は平年を上回る出荷となっているが、端境もあって今後は平年並みの出荷の見込み。<br>千葉産の出荷が平年並みと見込まれることから、現在平均を下回る価格は、平均並みで推移する見込み。   |
|      |                       |                        | 80.47                 | 76<br>(95%)            | 85.05                  | 62<br>(73%)                                  | 61<br>(72%)   | 63<br>(74%)                 | ・1,799t<br>(94%) | 長崎(39)、鹿児島(20) |   |  |
|      |                       | にんじん                   | 111.16                | 211<br>(190%)          | 156.99                 | 204<br>(130%)                                | 204<br>(130%) | 216<br>(138%)               | ・2,743t<br>(71%) | 徳島(73)、千葉(25)  | →   | 徳島産は、4月が干ばつの影響で生育が遅れていたが、5月に入り生育が回復して平年並みの出荷となっていることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。千葉産は、概ね順調な生育であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。<br>徳島産及び千葉産の出荷が平年並みと見込まれることから、現在平均並みの価格は、引き続き平均並みで推移する見込み。 |
|      | 109.97                |                        | 221<br>(201%)         | 140.94                 | 218<br>(155%)          | 211<br>(150%)                                | 206<br>(146%) | ・1,689t<br>(85%)            | 徳島(57)、長崎(29)    |                |   |  |

注：1 平均価格は、過去6カ年(平成23～28年)の関東及び近畿ブロックの中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均(消費税は除く)で、保証基準額の算定の基となる価格であり、農林水産省で公表している「野菜の生育状況及び価格見通し」における平均価格(平成25～29年)とは異なる。  
2 旬別平均販売価格の赤字及び青の背景は平均価格と比較して150%以上のもの、赤字及び赤の背景は保証基準額(平均価格の90%)を下回るもの(消費税は除く)であるが、必ずしも事業が発動するとは限らないため、あくまで参考である。  
3 単位は円/kg、上段は関東、下段は近畿ブロック。  
4 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。( )内は入荷シェアで平成29年実績である。  
5 コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴き取りをもとに機構が作成したものである。

※・レポートの読み方については、注意書きを参照してください

## 1 主要野菜の生産出荷状況

| 種類  | 3月の価格情報                |                       | 4月の価格情報                |                       |                        | 4月下旬の関東及び近畿ブロックの入荷量( )内は、本年と過去3カ年平均値との比率 | 5月の主産地 | 生育及び価格の5月下旬までの見通し                |                   |
|-----|------------------------|-----------------------|------------------------|-----------------------|------------------------|--|--------|----------------------------------|-------------------|
|     | (参考) 保証基準額の算定の基となる平均価格 | 指定野菜の関東・近畿ブロック別平均販売価格 | (参考) 保証基準額の算定の基となる平均価格 | 指定野菜の関東・近畿ブロック別平均販売価格 | 4月下旬の関東及び近畿ブロックの平均販売価格 |  |        |                                  |                   |
|     | 下旬                     | 下旬                    | 上旬                     | 中旬                    | 下旬                     |  |        |                                  |                   |
| いも類 | ばれいしょ                  | 96.99                 | 97                     | 145.31                | 95                     | 94                                       | 98     | ・3,899t (110%)<br>鹿児島(45)、長崎(41) | 生育及び価格の5月下旬までの見通し |
|     |                        | (100%)                | (65%)                  | (65%)                 | (67%)                  |  |        |                                  |                   |
|     |                        | 96.99                 | 97                     | 152.23                | 106                    | 112                                      | 107    | ・897t (82%)<br>長崎(58)、鹿児島(21)    |                   |
|     |                        | (100%)                | (70%)                  | (74%)                 | (70%)                  |  |        |                                  |                   |

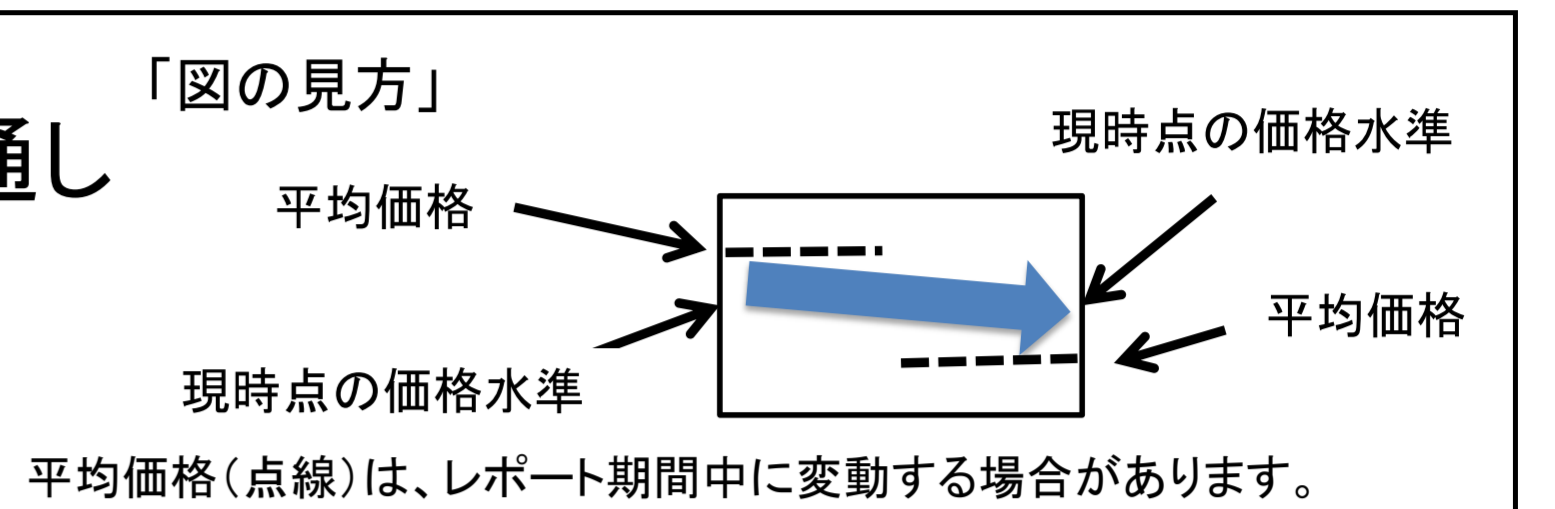


鹿児島産は、概ね順調な生育であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。長崎産は、乾燥傾向が続いて生育が若干遅れ気味であったものの、その後天候に恵まれて順調な生育であることから、現在は平年並みの出荷であるが、今後は平年を上回る出荷の見込み。  
鹿児島産の出荷は平年並みと見込まれるものの、長崎産の出荷は平年を上回ると見込まれることから、現在平均を下回っている価格は、引き続き平均を下回って推移する見込み。

注：1 平均価格は、過去6カ年(平成23～28年)の関東及び近畿ブロックの中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均(消費税は除く)で、保証基準額の算定の基となる価格であり、農林水産省で公表している「野菜の生育状況及び価格見通し」における平年価格(平成25～29年)とは異なる。  
2 旬別平均販売価格の赤字及び青の背景は平均価格と比較して150%以上のもの、太字及び赤の背景は保証基準額(平均価格の90%)を下回るもの(消費税は除く)であるが、必ずしも事業が発動するとは限らないため、あくまで参考である。  
3 単位は円/kg、上段は関東、下段は近畿ブロック。  
4 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。( )内は入荷シェアで平成29年実績である。  
5 コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聞き取りをもとに機構が作成したものの。

## 1 主要野菜の生産出荷状況(特定野菜)

| 種類  | 3月の価格情報        |              | 4月の価格情報        |              |        | 4月下旬の東京及び大阪市場の入荷量( )内は、本年と過去3カ年平均値との比率 | 5月の主産地 | 生育及び価格の5月下旬までの見通し            |                   |
|-----|----------------|--------------|----------------|--------------|--------|--|--------|------------------------------|-------------------|
|     | (参考) 過去5カ年平均価格 | 東京・大阪市場の旬別価格 | (参考) 過去5カ年平均価格 | 東京・大阪市場の旬別価格 |        |  |        |                              |                   |
|     | 下旬             | 下旬           | 上旬             | 中旬           | 下旬     |  |        |                              |                   |
| 野菜類 | ブロッコリー         | 300.88       | 353            | 335.48       | 357    | 590                                    | 473    | ・537t (86%)<br>香川(28)、埼玉(18) | 生育及び価格の5月下旬までの見通し |
|     |                | (117%)       | (106%)         | (176%)       | (141%) |  |        |                              |                   |
|     |                | 318.91       | 328            | 389.06       | 340    | 597                                    | 521    | ・112t (76%)<br>徳島(47)、鳥取(16) |                   |
|     |                | (103%)       | (87%)          | (153%)       | (134%) |  |        |                              |                   |



香川産及び埼玉産は、順調な生育であることから、引き続き平年並みの出荷の見込み。  
香川産及び埼玉産の出荷が平年並みと見込まれることから、4月下旬から日を追うごとに値を下げ現在平均並みとなっている価格は、引き続き平均並みの価格で推移する見込み。

注：1 平均価格は、過去5カ年(平成25～29年)の東京都及び大阪市中央卸売市場の価格。  
2 旬別価格は、上段は東京都中央卸売市場、下段は大阪市中央卸売市場であり、単位は円/kgである。  
3 旬別価格の赤字及び青の背景は、平均価格と比較して150%以上のもの、太字及び赤の背景は平均価格を80%を下回るもの(消費税は除く)であるが、必ずしも事業が発動するとは限らないため、あくまで参考である。  
4 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。( )内は入荷シェアで平成29年実績である。  
5 コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聞き取りをもとに機構が作成したものの。

## 2 野菜の輸出入動向 - 野菜の輸出入数量と主な生鮮野菜の輸出入について -

### ○輸入について

貿易統計によると、平成30年3月の生鮮野菜の輸入量は、13万8千トン(前年同月比141%)となり、前年より大幅に増加した。また、加工野菜は、14万7千トン(同91%)であり、野菜全体では、28万6千トン(同110%)となった。

このうち、中国産の輸入数量は合計で13万5千トン(同101%)と輸入量の47%を占めた。

3月の輸入量は、前月から引き続き昨年11月以降の野菜の高騰による影響で、生鮮野菜で大きく増加した。大幅に増加した品目としては、キャベツ(同377%)、はくさい(同1,840%)、かぼちゃ(同187%)などがあり、前年同月の上位輸入品目と比べると、国内価格が高騰した作物の増加がみられる。

また、キャベツの輸入先をみると、中国産が65%を占め次いで台湾産が16%を占めているが、それぞれの輸入量を前年同月比でみると中国産が258%、台湾産が1910%となっている。はくさいの大幅な増加については、中国産が前年同月比1,212%と大幅に増加したのに加え、前年同月では輸入がなかった韓国からも輸入がされており、数量を確保するために仕入先を増やしているとみられる。

### ○輸出について

3月の輸出量は、生鮮野菜は1,500トン(同107%)、加工野菜は1,148トン(同134%)となり野菜全体では2,648トン(同117%)となった。前年同月と比べて大きく数量は増加していないが、前年で、輸出量が最も多かったのはアジア向けのながいもであったのに対し、本年は米国向けのばれいしょとなった。

### 野菜の輸入数量

野菜全体の輸入量(平成30年3月)

| 区分        | 平成28年   |     | 平成29年   |     | 平成30年   |       |
|-----------|---------|-----|---------|-----|---------|-------|
|           | 数量      | 前年比 | 数量      | 前年比 | 数量      | 前年同月比 |
| 生鮮野菜      | 85,174  | 94  | 98,240  | 115 | 138,484 | 141   |
| 加工野菜      | 144,597 | 106 | 161,985 | 112 | 147,238 | 91    |
| 野菜合計      | 229,771 | 101 | 260,225 | 113 | 285,722 | 110   |
| うち中国産野菜合計 | 104,177 | 113 | 133,906 | 129 | 135,232 | 101   |
| 中国産シェア    | 45      |     | 51      |     | 47      |       |

主な生鮮野菜の輸入先(平成30年3月)

| 区分    | 輸入合計   | 1位       |        | 2位       |       | 3位    |       |
|-------|--------|----------|--------|----------|-------|-------|-------|
|       |        | 国名       | 数量     | 国名       | 数量    | 国名    | 数量    |
| キャベツ  | 27,586 | 中国       | 17,786 | 台湾       | 4,507 | 韓国    | 2,805 |
| たまねぎ  | 27,250 | 中国       | 24,015 | ニュージーランド | 1,850 | タイ    | 841   |
| かぼちゃ  | 21,647 | ニュージーランド | 21,003 | メキシコ     | 644   |       |       |
| にんじん  | 11,660 | 中国       | 7,310  | ベトナム     | 1,720 | 台湾    | 1,526 |
| ばれいしょ | 6,810  | アメリカ     | 6,796  | 中国       | 14    |       |       |
| ねぎ    | 6,581  | 中国       | 6,578  | ベトナム     | 4     |       |       |
| はくさい  | 5,211  | 中国       | 3,431  | 韓国       | 1,780 |       |       |
| メロン   | 4,587  | メキシコ     | 3,442  | ホンジュラス   | 440   | グアテマラ | 317   |

同(平成29年3月)

| 区分    | 輸入合計   | 1位       |        | 2位       |       | 3位      |     |
|-------|--------|----------|--------|----------|-------|---------|-----|
|       |        | 国名       | 数量     | 国名       | 数量    | 国名      | 数量  |
| たまねぎ  | 28,338 | 中国       | 23,564 | ニュージーランド | 3,568 | タイ      | 733 |
| かぼちゃ  | 11,604 | ニュージーランド | 11,277 | メキシコ     | 327   |         |     |
| にんじん  | 10,511 | 中国       | 7,972  | ベトナム     | 1,172 | 台湾      | 714 |
| キャベツ  | 7,321  | 中国       | 6,886  | 台湾       | 236   | ベトナム    | 106 |
| ばれいしょ | 6,373  | アメリカ     | 6,301  | 中国       | 72    |         |     |
| ねぎ    | 5,986  | 中国       | 5,986  |          |       |         |     |
| ごぼう   | 4,828  | 中国       | 4,792  | 台湾       | 37    |         |     |
| メロン   | 4,541  | メキシコ     | 4,072  | ホンジュラス   | 402   | オーストラリア | 46  |

### 野菜の輸出数量

野菜全体の輸出量(平成30年3月)

| 区分   | 平成28年 |     | 平成29年 |     | 平成30年 |       |
|------|-------|-----|-------|-----|-------|-------|
|      | 数量    | 前年比 | 数量    | 前年比 | 数量    | 前年同月比 |
| 生鮮野菜 | 5,433 | 606 | 1,400 | 26  | 1,500 | 107   |
| 加工野菜 | 882   | 132 | 855   | 97  | 1,148 | 134   |
| 野菜合計 | 6,316 | 404 | 2,255 | 36  | 2,648 | 117   |

主な生鮮野菜の輸出先(平成30年3月)

| 区分    | 輸出合計 | 1位   |     | 2位   |     | 3位     |    |
|-------|------|------|-----|------|-----|--------|----|
|       |      | 国名   | 数量  | 国名   | 数量  | 国名     | 数量 |
| ばれいしょ | 451  | アメリカ | 451 |      |     |        |    |
| ながいも  | 439  | 台湾   | 240 | アメリカ | 162 | シンガポール | 31 |
| いちご   | 310  | 香港   | 257 | 台湾   | 23  | シンガポール | 19 |

同(平成29年3月)

| 区分          | 輸出合計 | 1位 |     | 2位   |     | 3位     |    |
|-------------|------|----|-----|------|-----|--------|----|
|             |      | 国名 | 数量  | 国名   | 数量  | 国名     | 数量 |
| ながいも        | 487  | 台湾 | 293 | アメリカ | 156 | シンガポール | 35 |
| たまねぎ及びジャロット | 477  | 韓国 | 456 | 香港   | 20  |        |    |
| いちご         | 226  | 香港 | 193 | 台湾   | 21  | シンガポール | 6  |

資料：農畜産業振興機構「ベジ探」(原資料：財務省「貿易統計」)  
※平成29年1月以降、関税法の統計品目番号の変更により、「にんじん及びかぶ」が「にんじん」と「かぶ」に分離・集計されています。  
※四捨五入の関係上、合計と各計の数字は一致しないことがあります。

●問い合わせ先 独立行政法人農畜産業振興機構 野菜需給部 需給業務課 斎藤、山田、長島 TEL03-3583-9793、FAX03-3583-9484 ご意見、ご要望をお寄せください。  
◆「野菜の需給・価格動向レポート」は2回公表しています。公表時にメルマガでお知らせしますので、ご希望の方は当機構のホームページのトップ画面、メールマガジンから登録してください。  
★この「野菜の需給・価格動向レポート」は、[http://vegetan.alic.go.jp/vegetable\\_report.html](http://vegetan.alic.go.jp/vegetable_report.html)に掲載されています。  
※無断転載せず・レポートに記載された情報をご利用になったことにより生じたいかなる損害に関して、当機構は一切の責任を負いません。